

10

こどもの感情発達レベルを測ります

表情・文脈・音声テストによる感情発達プロセスの解明

どんな研究

自分や他人の気持ちを理解する能力は対人コミュニケーションにおいて不可欠です。本研究では、その能力がどのように発達していくのかを明らかにするために、**こどもの感情発達を多角的視点から定量的に測定し、発達レベルを見える化します。**

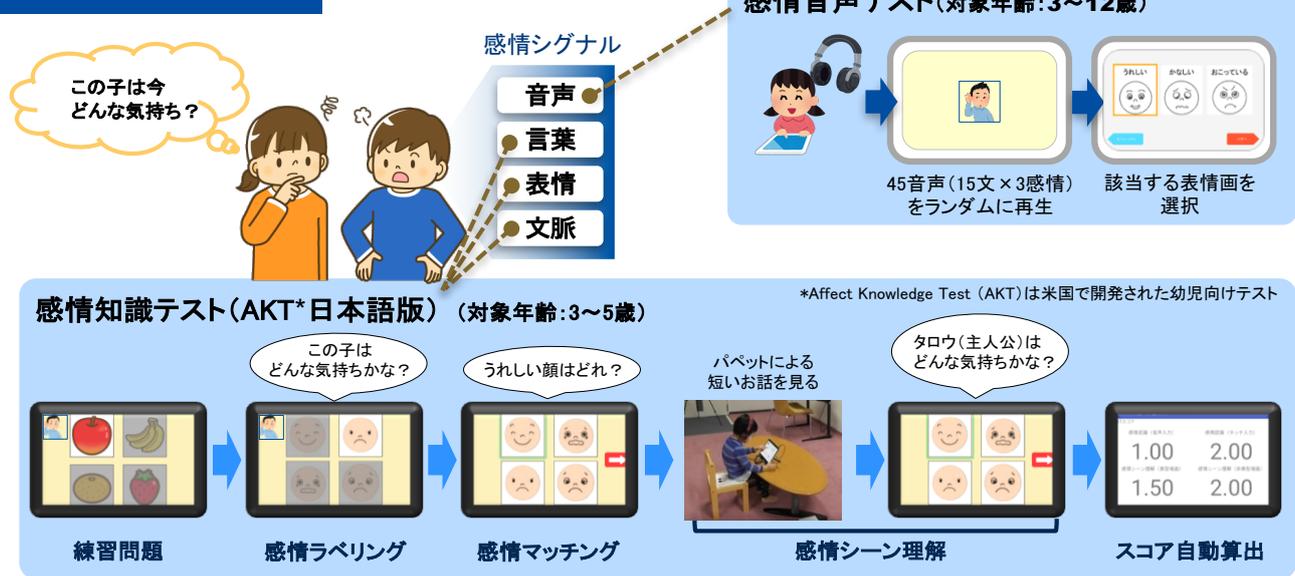
どこが凄い

従来手法では研修を受けたエキスパートのみが実施可能であったテストを、**タブレットアプリ化することにより場所の制約なくどこでも手軽に実施できるようにしました。**また、本テストを用いることで、どの感情シグナルの理解が難しいのかや、発達がゆっくりな子を容易に発見することができます。

めざす未来

本テストを保育・教育機関に導入することで、こどもの感情発達を定期的に測定し、**先生が気になる子や人とのコミュニケーションに困難を抱えている子に適切な支援ができるようになります。**早期介入により、こどもの学校生活への適応や円滑な人間関係構築を支援することが期待されます。

感情理解テストの開発

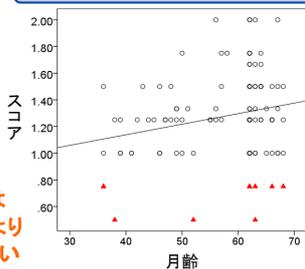


3-5歳児における感情理解発達

【調査対象児】3-5歳児116名(男児65名)

○ 定型発達群
▲ 発達遅延群
感情発達がゆっくりな子を容易に発見可能

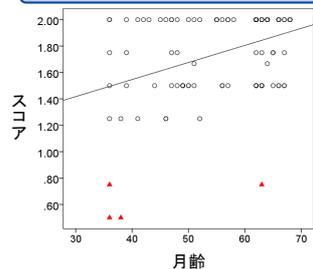
感情ラベリング



ラベリングは他のタスクより難易度が高い

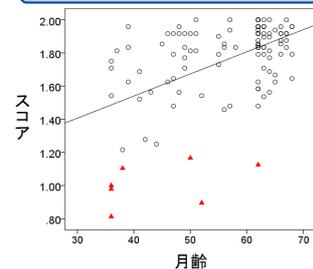
平均 = 1.27, 標準偏差 = .33

感情マッチング



平均 = 1.76, 標準偏差 = .33

感情シーン理解



平均 = 1.76, 標準偏差 = .26

関連文献

- [1] N. Watanabe, S. A. Denham, N. M. Jones, T. Kobayashi, H. H. Bassett, D. E. Ferrier, "Working toward cross-cultural adaptation: Preliminary psychometric evaluation of the Affect Knowledge Test in Japanese preschoolers," *SAGE Open*, 2019.
- [2] N. Watanabe, T. Kobayashi, "Computerization of an emotion knowledge assessment for preschoolers: Supporting their school readiness," in *Proc. International School Psychology Association 41st Annual Conference*, 2019.

連絡先

渡邊 直美 (Naomi Watanabe) 協創情報研究部 インタラクシオン対話研究グループ
Email: cs-openhouse-ml@hco.ntt.co.jp

